

みんなで協力！環境を大切に



© 鹿児島県ぐりぶー・さくら

私はこの夏、グリーン日記をつけてみていつもの生活よりも環境について考えることが多くなり、よかったなと思いました。小学生の時に、四年生の夏は毎年環境日記に取り組むようになり、節電や節水も行くと節約もできることに気づき、家族にも協力してもらいながら毎日頑張ることができました。この影響もあり、私の家には小学六年の2月から屋根にソーラーパネルをつけ、自分たちが使う電気だけでも太陽光で補おうと家族で話し合い、節電を心掛けています。しかし、最近山を切り開いてソーラーパネルを設置しているという話を耳にしました。太陽という資源から電気をつくるのは、私の家もやっていることだし、いいなと思いますが、空気をきれいにしてくれたり、木の影で地面を涼しくしてくれたり、地球を助けてくれるような山を切り開いてまでソーラーパネルを設置しなくてもいいのになと思ってしまいました。それに、ソーラーパネルのまわりの木や地面も熱くなってしまうから、逆に地球温暖化を進めてしまうのではないかと考えました。だから私は、山に設置するのではなく、安くでみんなの家に設置してもらえたらいいのになと思います。

私は、今年受験生なので、集中するためにテレビを消して勉強に取り組むことが多いです。静かな環境のおかげで集中力が増し、節電もできていると

思うと、とても得した気持ちになりました。

環境を大切にするためには、私はまず、身近ですぐにでもみんなが行動できるものから始めて、それを続けられたらいいなと思います。一人が難しいことをやり続けるのではなく、一人一人が家族や友達と協力して少しずつ地球を守っていく世界になってほしいです。世界中の人で頑張りたいです。

鹿児島市立伊敷中学校 3年 久永 唯暖

